

## 管理運営評価シート(令和4年度)

施設名称	神林有機資源リサイクルセンター	評価対象年度	令和 4 年度
指定管理者名	農事組合法人かみはやし有機	所管課	神林支所産業建設課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	齋藤 雄一

## 1 令和4年度の実績

## (1)事業実績

利用実績	処理量:3,511.8t 回収数:1,530回
サービス向上の取組	堆肥散布面積:241.8ha(前年対比90.8%)

## (2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (2年度)	前年度 (3年度)	当該年度 (4年度)	合計	備考
収入	指定管理料	2,034	1,847	2,581	6,462	基本協定額: 8,485 千円
	畜ふん回収処理料金	5,694	5,248	5,054	15,996	回収量3,478.3t
	堆肥売上収入	6,994	6,023	5,719	18,736	販売量686.1t
	散布料金	5,301	5,416	4,704	15,421	散布面積241.8ha
	その他	▲ 248	▲ 255	2,745	2,242	棚卸差益、預金利息等
	収入合計 ①	19,775	18,279	20,803	58,857	
支出	人件費	7,609	7,553	7,424	22,586	給料・賃金・社保・年金等
	福利厚生費				0	
	事務費				0	
	管理費	10,609	9,269	11,830	31,708	
	水道光熱費	3,834	3,994	5,242	13,070	電気・燃料・上下水道・ガス
	修繕料	5,706	4,152	5,343	15,201	攪拌機・ローダー・フォークリフト・運搬車
	使用料・リース料				0	
	手数料・保険料				0	
	委託料	1,069	1,123	1,245	3,437	電気保安全管理・検査料・事務経理
	事業費				0	
	自主事業経費				0	
	その他				0	
支出合計 ②	18,218	16,822	19,254	54,294		
収支差額(①-②)	1,557	1,457	1,549	4,563		

## 2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	△	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	△	△	堆肥の売上が伸びず、在庫量が増加している。
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

### 3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

<b>(1) 指定管理業務実施上の課題</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・堆肥利用促進のため、春、秋の水田散布や大豆圃場への散布を実施しているが、利用面積の拡大に繋がっていないのが現状。地域資源の循環システムが崩壊してきている。</li><li>・袋詰め装置の作業効率が低下してきている。堆肥ホッパーの螺旋ロールの変形傷みが原因のため、早急なメーカーとの協議が必要。</li><li>・資源不足、エネルギー不足の中、堆肥価格の改正が出来なかったことが課題でした。</li><li>・コロナ対策等のため、組合員の意見、利用者の意見など反映されづらかった。</li></ul>
<b>(2) 課題解決に向けた取組</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・肥料高騰のおり、今以上の品質管理を行い、より良質な堆肥を生産し、利用の拡大につながるよう努めていきたい。</li><li>・機械、施設の改良、修理等、市での対応を望む。</li></ul>
<b>(3) その他</b>
<b>①利用者からの主な意見や苦情、対応策</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・特に苦情等は受けなかったが、利用者からの苦情、要望あった場合は、内容をよく確認し、可能な限り迅速、丁寧な対応に努めていきたい。</li></ul>
<b>②その他</b>

### 4 全体的な評価

<b>(1) 指定管理者の評価</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・堆肥利用促進のため、春、秋の水田散布や大豆圃場への散布を実施しているが、利用面積の拡大に繋がっていないのが現状。地域資源の循環システムが崩壊してきている。</li><li>・袋詰め装置の作業効率が低下してきている。堆肥ホッパーの螺旋ロールの変形傷みが原因のため、早急なメーカーとの協議が必要。</li><li>・資源不足、エネルギー不足の中、堆肥価格の改正が出来なかったことが課題でした。</li><li>・コロナ対策等のため、組合員の意見、利用者の意見など反映されづらかった。</li></ul>
<b>(2) 施設所管課の評価</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・年々、堆肥利用者が減少し、収入に見合う散布面積の確保に向け、利用拡大に尽力していたが確保できず、結果余剰堆肥量が多くなった。</li><li>・計画的に機械等の更新が行われていない中、運用に支障が出ないよう維持管理に努めていた。</li></ul>
<b>(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・指定管理者である農事組合法人かみはやし有機がR5年12月に事業停止することとなっているが、それまでの間堆肥利用者の拡大に努めてほしい。</li></ul>